

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)
Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2023年2月27日(月)
NO. 1352号
本号3頁

大軍拡、大増税、憲法改正が狙われる危険な2023年 のたたかう方針を確立!! 憲法会議第58回総会開催

憲法会議の第58回全国総会が25日、都内で開催されました。総会は会場参加とオンライン参加の併用で行われ、全国から会場参加21名、オンライン参加13名が参加しました。

吉田健一代表委員(自由法曹団前代表)が、ウクライナ侵略から1年経過したが、戦争は土沼状態。しかし、23日国連総会でロシア軍の即時撤退や国連憲章の原則に沿った永続的な保平の達成などを求める決議案が141カ国の賛成で採択されたことを確信に、引き続き「ロシアは撤退せよ」と声を上げて行くことの重要性を強調。そして、大軍拡と大増税、改憲阻止に向けた重要な2023年、共に奮闘しようと呼びかけました。

全国総会に対する議案と決算・予算等を、高橋信一事務局長が提案しました。大軍拡、大増税、そして憲法改正が狙われる極めて危険な2023年。衆参両院で改憲派が3分の2を占めるも、市民の共同、市民と野党の共闘で改憲発議を許していない、これまでのたたかひの教訓と情勢の特徴を確認し合い、大軍拡阻止、憲法と国民の生活と権利を守る正念場となる2023年度のたたかひをどう進めるのか、新たな方針を確立する場として、第58回総会を開催すると述べ、2022年のたたかひを報告し、2023年のたたかひを提案しました。

2023年のたたかひについて、大軍拡・大増税、改憲阻止、国民生活を守る大運動を呼びかけました。①防衛戦略大転の閣議決定撤回、大軍拡、大増税阻止のたたかひ、②軍事対軍事ではなく、憲法9条をいかした平和外交を求めるとりくみ、③新型コロナ5類引き下げに伴う緊急課題に対する取り組み、④「憲法学習」運動を活動の中心に据え、共同・共闘を広げ、改憲阻止するたたかひ、⑤共同を強め、諸課題をたたかひ抜き、統一地方選挙勝利で岸田政権打倒、政治転換のたたかひ、⑥憲法会議の組織強化、の各課題について提案しました。

討論では、第一に、安保3文書閣議決定撤回、大軍拡・大増税反対の声をどう広げて行くのか、各地の署名・街宣、学習活動等の報告がされ、多数の意見が出されました。その中では、安保3文書のなかみを学習すること、まずは「知る」ことが強調されました。また、「大軍拡・大増税NO!連絡会」が始め、総がかり行動実行委員会も取り組み始めた「平和、いのち、暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」をどう取り組むのか、「大軍拡・大増税反対の署名から対話していくと、ほとんどの方が改憲反対の署名も協力して下さる」(新日本婦人の会)等の報告がありました。

第二に、憲法改悪反対のたたかひについて、改憲反対の署名を「いったん横において」ではなく、改憲を巡る危険な状態のもとで取り組むことの必要性、そして「平和、いのち、暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」と一体に取り組むことの重要性が確認されました。さらに、2日から衆院憲法審査会が開催されるも、「昨年56人が傍聴し、傍聴記を書いてもらい、ニュースで紹介している」(東京憲法会議)等と傍聴活動が報告され、テレビでの同時配信での傍聴を始め、傍聴・監視の重要性を広め、傍聴者を増やして行こうと語られました。

第三に、たたかひの中心に「憲法学習」活動を据えることの重要性が語られました。宮城憲法会議からは「憲法学習の講師派遣発動」を始めたが、毎月4~5件の依頼があり、広がっているとの報告。鳥取憲法会議からは年3回の憲法学習講演会と毎月の「月刊憲法運動」の読み合わせ会のと

りくみが報告されました。各地で創意工夫された「憲法学習」活動をさらに推進していこうと語られました。

第四に統一地方選挙について、「憲法を守ろう」という勢力が奮闘することの必要性が語られ、自公に厳しい審判を下すとともに、改憲を煽り続ける日本維新の会の地方議員 1.5 倍化を阻止し、「1.5 倍化できなければ辞任する」と発言している馬場代表を辞任に追い込もうと語られました。

その後、提案された議案と、決先予算が参加者の拍手で採択され、さらに 2023 年度の新役員が選出され、大軍拡、大増税、そして憲法改正が狙われる極めて危険な 2023 年のたたかう方針と、そのための財政と体制を確立し、総会を終えました。

ウクライナ侵略 1 年 ロシアからの撤退を求め、集会・デモ

ロシアによるウクライナ侵略から 1 年となる 2 月 24 日、一日も早い戦争終結と平和を求める行動が全国各地で取り込まれました。東京・日比谷野外音楽堂で開かれた集会とデモには、雨が降るなか 1000 人が参加し、「ロシアは侵略をやめろ」「ロシアはウクライナから撤退せよ」などが書かれたプラカードを掲げてアピールしました。

主催は、さようなら原発 1000 万人アクション実行委員会と総がかり行動実行委です。

主催者を代表してあいさつした、総がかり行動実行委員会の高田健共同代表は、国連憲章や国際社会の批判を無視して侵略行為を続けるロシア政府に断固抗議すると表明。「戦争に抵抗し、平和を求める全世界の人たちと連帯しながら、即時停戦を求めて声をあげ続けよう」と述べました。

様々な立場の市民が発言。ジャーナリスト志葉玲さんは、数日前までウクライナで取材していたが、病院の敷地や学校にミサイルが飛んできていたと告発。「ロシア軍は戦争犯罪を繰り返しています。こうした暴挙は止めないといけない」と訴えました。

日本国際ボランティアセンター（JVC）の今井高樹代表理事は、ウクライナ情勢などを口実に日本政府は、安保 3 文書の改定をはじめ戦争準備を進めていると指摘。「憲法 9 条を持つ平和国家としての信頼を踏みにじろうとしている。私たちは、平和の声をあげていきたい」と語りました。日本共産党の笠井亮、宮本徹の両衆院議員、岩渕友参院議員、社民党の福島瑞穂参院議員が参加しました。

軍事対軍事ではなく、憲法 9 条をいかした平和外交を

ロシアのウクライナ侵略から 1 年。23 日、国連総会でロシア軍の即時撤退や国連憲章の原則に沿った永続的な保平の達成などを求める決議案が 141 カ国の賛成で採択されました。国連憲章に基づいて平和の秩序を守る一点で世界が結束を強めることが何より大切です。侵略は許されないという憲章の原則が団結の軸となります。戦争終結に向けた外交に力を尽くすことを政府と国際社会に求めます。

「大軍拡・大増税反対 NO!!」

総がかり行動実行委など 官邸前緊急行動

岸田政権による大軍拡・大増税に反対する緊急行動が 22 日、首相官邸前で取り込まれました。参加した 250 人（主催者発表）が、「するな！戦火を招く大軍拡」などが書かれたプラカードを掲げ、「安保 3 文書は今すぐ撤回」と訴えました。主催は、総がかり行動実行委員会など。

主催者を代表して、戦争をさせない 1000 人委員会の田中直樹さんがあいさつ。敵基地攻撃能力の保有をはじめ、岸田政権は国民の安全より米国の安全を優先した政治を行っていると批判。「力をあわせて、大軍拡と大増税、そして、原発推進に反対の声をあげよう」と語りました。

日本共産党、立憲民主党、社民党、「沖縄の風」の国会議員が参加しました。共産党の宮本徹衆院議員は、「米国の戦争に巻き込まれるリスクを高め、国民生活をないがしろにする岸田政権は退陣しかありません」と述べました。



多彩な市民がマイクを握り、「何でも閣議決定で決めるな」などとスピーチしました。弁護士の内田雅敏さんは、台湾有事をめぐつても岸田政権は軍事力強化の方針しかないとし、「戦争を起こさせないためには、先人たちが積み上げてきた対話や平和の努力こそが重要です」と話しました。

最後に、憲法共同センターとして憲法会議の高橋信一事務局長が行動提起。「平和、いのち、暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」を「憲法改悪を許さない全国署名」と一緒に取り組もうと呼びかけました。

安保関連3文書閣議決定撤回、大軍拡・大増税・改憲阻止に 市民の共同を広めて、全力でとりくみましょう!!

安倍政権では安保法制を強行し、集団的自衛権行使に道を開きましたが、今度はさらに「敵基地攻撃能力」を保有する、すなわち米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つと、憲法9条が謳う「戦争の放棄」「戦力不保持」とは真逆な方向に、防衛戦略を大転換させました。米国はこの安保関連3文書の閣議決定を大歓迎しています。それは米国の危険な戦略に同盟国を参加させていく、日本を丸ごと組み入れるという方針で、米国の年来の戦略に付き従っての具体化だからです。

岸田首相は、国民へ「軍事費のための増税」を要請し、「2027年度まで現在の国内総生産（GDP）の2%に達することを目指す」としています。

このGDP比2%増は、米国が自由で開かれたインド太平洋を目指し、地域自体を強く支援するけれども、「単独でこれを達成することはできない」と、トランプ政権のエスパー国防長官が「防衛費を少なくともGDP比2%に引き上げるように求める」と同盟国への軍事的負担の要求したものです。それに、昨年自民党の安全保障調査会が応え、「骨太の方針」に「GDP比2%、5年以内」と期限を定め、米国の要請に忠実に応え、国会にも国民にも諮らず、閣議決定だけで「米国と一緒に戦争する戦争準備国」としたのです。ですから、日米首脳会談で報告した岸田首相はバイデンに頭を撫でられ、大歓迎されました。まるで、米国の「ポチ」です。

安保関連3文書の閣議決定を撤回させなければなりません。皆さん、閣議決定撤回、大軍拡・大増税、そして憲法改悪阻止に向けて、全力で奮闘しましょう。「大軍拡・大増税NO!」署名と「改憲反対」署名に全力でとりくみましょう。何よりも、「平和、いのち、暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」を「憲法改悪を許さない全国署名」と一緒に取り組み、9の日行動、19日行動等と一体の大宣伝行動に取り組みましょう。

そして、様々な集会・行動を、多くの市民の皆さんとともに、一つひとつ成功させていくことが重要です。各地のとりくみを成功させましょう。

また、3月2日から衆院憲法審査会が開催されます。そのため、9日には院内集会「軍拡と改憲～憲法審査会の現状」が開催されます。そして、傍聴行動にもご参加ください。

◇都内での当面のとりくみ

●3月1日（水）18:00～ 3・1朝鮮独立運動104周年 【3・1キャンドル行動】

場所：新宿駅西口前

●3月9日（木）16:00～ 院内集会「軍拡と改憲～憲法審査会の現状」

場所：衆議院第1議員会館 第6会議室※先着40名

●3月13日（月）18:00～ 憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝

場所：新宿駅 東南口

3月2日（木）午前10時から衆院憲法審査会開催 傍聴・監視活動を!!

○傍聴を希望される方は、憲法会議まで3月1日午後3時まで、電話・FAXでお知らせください。当日は、午前9時半まで、衆院議員面会所にご集合ください。

○同時中継されると思います。衆議院のホームページから入れますので、地方の方、忙しく国会に来られない方は、ご視聴ください。